

大学の世界展開力強化事業(2022年度選定) 東京藝術大学 取組概要

【事業の名称】(選定年度2022年度)

Shared Campus(国際共創キャンパス)を活用した日英豪印 SDGs x ARTs グローバルリーダー養成プログラム  
ー世界を幸福にするイノベーション創出ー

【交流推進事業の概要】

現代世界が直面する持続可能な社会への課題に芸術から寄与する「SDGs x ARTs」をテーマに、日英豪印の芸術教育を牽引する大学と連携し、「持続可能な社会づくりに取り組む国際協働による芸術教育・研究プログラム」の構築と「社会と芸術をつなぐグローバルリーダーの養成」を目的とする。英豪印各地の連携大学のローカルの現代社会の課題に取り組むインターローカルな社会実践(ソーシャルプラクティス)プロジェクトを活動単位として、連携大学と国際交流協定を結び、交換留学の派遣・受入を促進しながら、国際的な連携に基づく修士・博士におけるダブルディグリーを目指す。



【交流プログラムの概要】

サマープログラム: 「SDGs x ARTs」の取組理論と実践を集中的に学ぶ

- 1) SDGsの概念、理論的理解、芸術を通じた社会へのアプローチを学習
- 2) 日本に蓄積された人間と環境の関係を芸術面から実地学習  
日本のアート・デザインの環境への取組から現代的課題を学習
- 3) 連携大学教員による特別講義・ワークショップを介し、平和や環境問題、SDGs状況を理解  
ローカルとグローバルの視座、多角的視野を習得

セメスタープログラム: 実践を通して「SDGs x ARTs」を学ぶ

- 1) リサーチフェイズ: 連携校教員の指導のもとリサーチ対象、目標を決定
- 2) インターンフェイズ: 工房、行政、企業にてインターンを実施
- 3) リフレクション+シェアリング・フェイズ: インターンでの学びを報告書または作品制作にて発表。学生間で討議

【本事業で養成する人材像】

SDGs x ARTs グローバルリーダー

- ①大学と社会との協働により、イノベーションの創出など新たな価値創造を目指す人材
- ②芸術を通じてSDGsが推進する、国際的な課題への解決に貢献する人材

【本事業の特徴】

本学の社会実践プロジェクトとの連携を図るとともに、芸術系大学間の新たな国際交流スキームである「Shared Campus(国際共創キャンパス)」に参画しながら、本学教職員・学生ユニットの派遣と連携大学の教職員・学生の受け入れによる双方向の授業を実施する。

【交流予定人数】

|    |                               | 2022 | 2023 | 2024 | 2025 | 2026 |
|----|-------------------------------|------|------|------|------|------|
| 派遣 | 実際に渡航する学生                     | 0    | 1    | 1    | 1    | 1    |
|    | 自国にて国際教育・交流プログラムをオンラインで受講する学生 | 0    | 3    | 3    | 3    | 3    |
|    | 実渡航とオンライン受講を行う学生              | 2    | 6    | 6    | 6    | 6    |
| 受入 | 実際に渡航する学生                     | 0    | 3    | 3    | 3    | 3    |
|    | 自国にて国際教育・交流プログラムをオンラインで受講する学生 | 0    | 9    | 9    | 9    | 9    |
|    | 実渡航とオンライン受講を行う学生              | 6    | 9    | 9    | 9    | 9    |